

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2016年第2四半期（4月～6月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

- イード休暇、夏季休暇前のため、留守中の侵入窃盗に対する注意喚起が報じられた。ドバイ警察によると、2015年中の侵入窃盗の発生件数は289件で、2014年の333件と比べると減少した。
- ドバイ警察によると、2016年上半期の薬物事犯検挙件数は748件で、前年同期の686件に比べると増加し、検挙人員は977人で前年同期の946人に比べると増加した。また、マリファナ35.5kg、コカイン33.8kg、ヘロイン33.4kg等の薬物を押収した。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

7月1日、アジュマーン首長国アルジャルフ地区において、労働者による抗議活動が発生。約1,300人の建設労働者が、3か月未払いとなっていた賃金の支払いを求めて、雇用主支社近辺の路上に集結した。警察の出動により抗議活動は沈静化され、死傷者及び逮捕者はなし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

○ フジャイラ首長国（4月9日発生）

フジャイラ・コルニーシュにおいて、UAE人の男は、口論の末、友人のUAE人男性を、刃物で複数回突き刺して殺害した。

○ ドバイ首長国（5月4日発生）

ドバイ・マリーナ地区のビルの地下駐車場において、トルコの旅券を所持したイラン人の男性はエンジンをかけたまま駐車中の車の中で、頭部や胸部等を拳銃で撃たれて殺害された。（同日現在捜査中）

○ シャルジャ首長国（5月20日発生）

インダストリアル地区において、ヨルダン人の男は、8歳のヨルダン人男児を車に乗せて誘拐した上、強姦し、首を絞めて殺害した。その後、同人は、同死体をドバイ・アルワルカ地区付近の道路沿いの樹木の下に遺棄した。

○ シャルジャ首長国（6月18日発生）

アル・ヤルムク地区のアパート内において、居住しているイエメン人の男性が刃物で身体を複数箇所刺されて殺害されているのが発見された。（同日現在捜査中）

○ シャルジャ首長国（6月25日発生）

アル・サジャ・インダストリアル地区において、インド人の男性が、複数の男らとけんかの末、刃物で刺されて殺害された。（同日現在捜査中）

○ ラス・アル・ハイマ首長国（7月9日発生）

ラス・アル・ハイマの一般住宅において、UAE人の男は、口論の末、妻のUAE人女性を拳銃で数回撃ち、殺害した。

(2) 強姦・強制わいせつ

○ ドバイ首長国 (5月10日発生)

ジュメイラビーチの屋外シャワー施設において、エリトリア人の男は、全裸となった上、8歳のロシア人女兒に近づき、後ろから身体を密着させ、胸を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国 (7月27日報道)

ドバイのショッピングモールの駐車場において、トルコ人の男は、買い物を終えて駐車場に向かうヨーロッパ人女性の後を付け、同女性が車に乗り込んだところで殴打した上、強姦した。

(3) 強盗

○ ドバイ首長国 (4月29日発生)

ナイフ地区のアパートにおいて、パキスタン人の男ら3人は、同僚の男性の部屋に侵入し、同人をロープで緊縛し、金庫の鍵を奪った上、金庫内の現金6万ディルハムを奪って逃走した。

○ ドバイ首長国 (6月2日発生)

ナイフ地区の会社事務所において、男ら6人は、アブダビ警察を装い室内に侵入し、従業員の男性に監視カメラの電源を落とさせ、携帯電話を取り上げた上、ロッカー内に保管していた現金65万ディルハムを奪って逃走した。

○ ドバイ首長国 (6月6日発生)

アジア人の男ら2人は、タクシーに乗車した上、バングラデシュ人運転手に対してアル・コツ地区に向かうよう依頼し、タクシーが同地区周辺に付くなり、突然、後方から、同運転手の首にロープを巻き付けた上、ナイフを突き付けて脅し、現金1,300ディルハムと携帯電話を奪って逃走した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。